

# 平成24年度通常総会資料

## 第1号議案

議事録署名入選出の件

内 容 総会式典 10:00~10:40

特別講演 10:40~12:20

## 第2号議案

平成23年度事業報告および収入支出決算報告並びに監査報告承認の件

「今、なぜ公益社団法人をめざすのか  
-管理栄養士・栄養士の将来を拓くために-」

(社)日本栄養士会 監事・顧問弁護士 早野貴文  
総会議事 13:10~14:40

出席者 1,256名(内委任状 1,113名)

第5号議案の定款変更(案)承認の件が出席者不足のため議案を取り下げ、また、関連する第6号議案の役員等報酬規程(案)承認の件を取り下げた。そのため臨時総会を開催する。

## 平成23年度事業報告

### I. 平成23年度通常総会および臨時総会の開催

#### (1) 通常総会

平成23年度通常総会は、川島貞夫：千葉県健康福祉部長、山口淳一：千葉県保健福祉局健康部長、浅野薫之：千葉県歯科医師会長、佐野彰：千葉県議会議員・顧問をはじめとする12名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続き特別講演、総会議事を次のとおり開催した。

日 時 平成23年5月14日(土) 10時~14時40分

場 所 千葉市美浜区若葉2-10-1

千葉県立保健医療大学 講堂

#### (2) 臨時総会

日 時 平成23年9月28日(水) 15時30分~16時

場 所 千葉市中央区富士見1-3-2

京葉銀行文化プラザ 音楽ホール

内 容 臨時総会議事

出席者 1,536名(内委任状 1,428名)

定款変更(案)承認の件等全議案が承認される。

## 平成23年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態、および、栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る管理栄養士・栄養士の実務とおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学等に跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の概要」欄に記載した一連の取組みなどとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。

### 事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】

本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)一つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)二つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)三つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)四つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。

以下に平成23年度事業実施の概要を記載する。

### I. 食と栄養の科学及び実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)

#### 1. 栄養・健康に関する調査研究事業

##### 1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)

栄養学および栄養指導・食事療法に関する調査研究を掌る機構として、「栄養指導研究所だより」の発行、管理栄養士・栄養士の調査研究活動への支援などを行った。また、栄養指導研究所運営委員会および栄養指導研究所運営協力者合同会議を開催し、栄養指導研究所の体制整備に努めたほか、「千葉県栄養士会雑誌」の発行を通じ、管理栄養士・栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援普及などに関する事業を進め、日常業務における給食管理、栄養指導、食事療法の充実を推進し、食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に努めた。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④管理栄養士・栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 1-2 千葉県内医療機関栄養業務実態調査の実施（病院）

この調査は、千葉県内医療機関の栄養管理業務の実態を把握し、県内医療機関における栄養業務の改善向上を図る基礎資料とする事を目的に実施する。昭和58年（1983年）の第1回目から4年ごとに行われ今回で8回目となる。対象は県内の全病院283施設とし217施設（77%）から回答を得た。基礎調査・運営状況・業務企画・災害時の備え・フードサービス・栄養指導・栄養管理の7区分56項目の調査結果を集計した。報告書（冊子）を作成し、調査協力施設など関係機関に郵送した。千葉県栄養士会事務所にて閲覧も可能である。「災害時の備え」中間報告を栄養士・調理師合同研修会のパネルディスカッションで情報提供した。また、千葉県栄養改善学会にて調査の概要を発表した。

【①県内すべての病院 ②調査報告書を回答施設、関連機関に配布。本会事務所にて閲覧できる ③調査、資料収集 ④企画立案は管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興

### 2-1 千葉県栄養改善学会の開催（学術部）

栄養学と栄養改善技術に関する最新の学術的な知見に基づく講演・シンポジウム、管理栄養士・栄養士による研究発表などを行う本学会をとおして、職域を超えた栄養学的情報、最新の指導技術の集約は、日常の業務をより良いものとするに効果があり、先駆的な栄養食事指導技術の理論化を図り効果的な給食管理や栄養指導、食事療法などの礎をすることを目的に開催した。開催内容は、平成24年2月18日(土)千葉県立保健医療大学大講義室をメイン会場に、会員158名、協賛会員担当者79名、非会員3名、計240名の参加を得て開催した。一般演題は栄養千葉108号（8月20日発行）発送時に、カラー別刷りを同封して募集を行った。会員による一般口演は21題で、4分科会会場（公衆栄養、臨床栄養、栄養・給食管理、栄養指導他）を設けた。学会の運営を円滑に行うため、前日に会場責任者などによる事前準備を行い、当日は支障なく運営ができた。特別講演は「放射線と食の安心・安全」と題して、独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター廃棄物技術開発チーム 主任研究員 田上恵子氏に講演をお願いした。食品の放射線基準値や放射線濃度の時間変化など興味深い内容であった。午後は教育講演で「栄養士業務を続けてきた経験からの提言」と題し本会の高澤博道総務部長が行った。栄養士・栄養士の歴史を踏まえ、栄養士として活動する心構えなど示唆に富んだ講演であった。その他、協賛会員39社による優良商品の展示を行い、昼食時間帯には多数の参加者が足を運び盛況であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

### 2-2 「食育媒体の作成と開発」の実技研究会の開催（福祉）

食育媒体の考案と作製、実演の仕方を学ぶことにより、食育指導技術の向上を目的に実技研修会を蘇我勤労市民プラザにおいて2回開催した。1回目は6月15日(水)10時～16時30分の1日研修で44名が参加し「むし歯予防の手袋人形」を作製、2回目は12月1日(木)午前と午後の部に分けて80名が参加し「三色食品指導用媒体、赤・黄・緑の人形」を作製した。講師は手芸家であり食育指導士の板良敷信子先生のご指導を受け、研修時間内に全員が完成することができた。参加者から、即、食育指導に活用できると好評であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は大学の教授 ⑤単独 ⑥非該当】

### 2-3 事例研究会の開催（地活）

具体的な事例や素材をもとに、地域で活動する管理栄養士・栄養士に必要な栄養指導や食育指導の方法を研究開発する事例であり、23年度は2回実施し、1回目は12月1日に「郷土料理の実習」を南房総市三芳保健センターにおいて行った。内容は食育活動のツールとして用いられる太巻きずしの作り方や指導技術についての事例研究を行った。この研究会は開催地を変えて毎年県内で実施しているものである。参加者は8名であった。2回目は24年2月2日に糖尿病の重症化予防に向けて「糖尿病指導の実践について」の事例研究を本会事務所で行った。参加者は27名であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

### 2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野の管理栄養士・栄養士に最新の情報・知識を伝達することを目的として、食と栄養の科学と実用技術に関する学術文、栄養改善学会奨励賞受賞者の発表内容、食育指導の実践報告、職場だよりなどを掲載し、会報発行時に年3回（4月・8月・12月）発行した。内容は、県民や会員以外の管理栄養士・栄養士に読んでもらえるようにインターネットにも掲載し、また、本会事務所外壁掲示板に掲示した。

【①県民、管理栄養士・栄養士、関連職種 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④千葉県栄養士会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

### 3-1 「『千産千消』レシピ」の考案と普及（事業部）

千葉県は、バラエティに富んだ新鮮な農畜産物が豊富に生産される。この豊かな食材を使用して健康づくりや食育の推進、食文化の継承発展に活用することを目的に、献立・レシピを食育・健康料理教室推進委員、事業部役員、栄養指導研究所運営委員などで作成し、広く県民が利用できるよう千葉県栄養士会ホームページへの掲載と健康づくりイベント等に利用することなどを検討した。

【①県民、管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③開発 ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

### 4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う各種健康づくりに関する委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べることによって、健康づくり施策の推進に協力した事業である。平成23年度の各委員会・会議を下記に列挙する。

健康ちば宣言プロジェクト推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進委員会、千葉県男女共同参画推進連携会議、健康ちば21推進部会、千葉県介護予防市町村支援委員会、千葉県留置施設委員会、千葉県食品等安全・安心協議会、脳卒中連携の会、千葉県共用地域医療連携パスワーキンググループの会議、千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、千葉市学校給食センター運営委員会。

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤共催、協力 ⑥非該当】

#### 4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉市の行う各種健康づくりに関する委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べることによって、健康づくり施策の推進に協力した事業である。平成23年度の各委員会・会議を下記に列挙する。

健康づくり推進協議会（食育推進部会）、健康づくり推進協議会（地域・職域連携推進部会）、新世紀ちば健康プラン推進協議会（市民健康づくり大会）、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市食育推進協議会、千葉市地域保健医療協議会。

【①県民 ②市の諸施策の公開・広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤共催、協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、何れも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として行った。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの登載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施にあたっては、適宜、関連諸科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同することとして、理論および実用性の両面において高い質を確保した。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯学習の推進、および、養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項2号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかるとる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、管理栄養士・栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】	
この事業は、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。管理栄養士・栄養士の人材育成事業であり、(1)その柱の一つ目の柱は、継続教育・生涯学習の制度で、中核事業が生涯学習研修会である。すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる基幹的な研修事業である。(2)二つ目の柱は、拡充研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の振興・発展を図る研修を行う。(3)三つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取組みにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成する。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。 以下に平成23年度事業の実施概要を記載する。	

## II. 健康づくりに貢献する管理栄養士・栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）

### 1. 継続教育・生涯学習事業—基幹研修制度

#### 1-1 新人研修会の開催（組織部）

卒後1～4年程度の管理栄養士・栄養士を対象に、1日の日程で、専門職業人として基本的な事柄や一人配置職場において適切な業務を遂行をできる方策を身につけさせるための講演その他からなる研修を行うこととし、23年度は、10月29日(土)に行い、8名の参加者であった。午前は総務部長の「千葉県栄養士会の組織と事業」と各職域協議会長による「職域協議会の事業と今後の展望」の2題を行った。午後は会長の「専門職として成長するためのポイント」の講演と栄養改善奨励賞より子安亜季氏の「食に関する指導の充実を目指して～教職員との保護者へのアプローチ～」の発表と順天堂浦安病院、尾崎眞五氏の「特定給食施設の災害時のリスク管理」の講演、ワークショップ「災害時のリスク管理」を行った。この他協賛会員による商品展示説明等を行った。

【①卒後1～4年の管理栄養士・栄養士 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④経験と定評のある講師 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 1-2 生涯学習研修会の開催（学術部）

管理栄養士・栄養士の卒後教育の基幹をなす研修事業であり、体系的プログラムをもとに、5年間で60単位を取得するものとして、必ず身につけておくべき事柄など管理栄養士・栄養士としての基礎体力の醸成と増強を図り、生涯学習に参加することにより、常に新しい知識と情報を入力し、専門職としての体力を継続して鍛えるための研修会である。業務に新しい知識と技術を反映させ、業務の充実を図るとともに、県民に食事・栄養指導、食育活動を展開しながら、家庭における豊かな食生活や健康づくりを通じて、多くの人々の幸せと利益につなげられるよう日本栄養士会の「生涯学習制度」を活用して開催した。今年度は必須科目3単位を含め16単位を平成23年6月11日・26日、7月3日・31日、8月20日の5日間に亘って、千葉県立保健医療大学で実施した。科目の選定にあたっては生涯学習委員会を開催し、委員や7協議会から講師やテーマの推薦を受けて決定した。申込者170名、延べ受講者1,436名、取得単位数1,384単位であった。平成23年度の修了書の申請者は7名であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は管理栄養士・栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

### 1-3 中堅管理栄養士・栄養士研修会開催の検討（組織部）

この研修会は、それぞれの職場・地域で活躍する中心的な役割を担う中堅管理栄養士・栄養士を対象に、それぞれの職場で他部門と連携して業務を充実する上で必要な知識の習得、職場の課題発見と改善方法の検討などの研修を行うものである。マンネリ化を防ぎ、それぞれの職場における業務の充実と公益活動の主力となる人材を育成することとし、平成23年度は、来年度に研修を開始する準備として内容の検討を行った。

【①経験5～20年程度の中堅の管理栄養士・栄養士、②本会事務所壁面掲示版、ホームページ、③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

### 1-4 日本栄養士会との共同研修事業の実地（事業部）

(社)日本栄養士会との共同研修事業として日本酪農協会の支援を受けて12月9日(金)に千葉市総合保健医療センターにおいてセミナー「牛乳を科学する」を実施した。内容は基調講演「知っておきたい牛乳の基礎知識」、第二部パネリスト講演2題、第三部「パネルディスカッション」の3部構成で行った。運営は千葉支部が行い、参加者は179名であった。

生涯学習研修会（緊急時における栄養管理の役割と実践～課題把握とスキルアップをめざして～）開催日：2月11日(土)、場所：千葉市民会館小ホール、講師：足立香代子氏、参加者は116名であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士、関連緒科学の研究者および実務家 ⑤共催 ⑥非該当】

### 1-5 保健指導担当者等業務向上研修会の開催（学術部）

制度始動期にある特定健診・特定保健指導の制度も、今後、医療保険者の全てが特定保健指導を実施するようになると、保健指導を適性の実施する人材の不足が問題化するの必死の状況である。研修修了者に対し、継続した技術向上を狙いとする研修を行う所以である。平成23年度は、1日の日程で基調講演、グループワークなどを行った。保健指導担当者研修会修了者および研修希望者を対象にスキルアップを目指した研修会を、平成23年11月26日(土)に千葉県立保健医療大学を会場に開催した。基調講演は保健指導における運動の重要性を踏まえ、より具体的に運動指導を行うための実技指導も含めた内容として、『特定保健指導の現状と実際の指導について（運動指導を含めて）』と題し神奈川県立保健福祉大学教授の鈴木志保子先生にお願いした。午後は4人一組になって管理栄養士による模擬指導と、観察者との意見交換を行うグループワークを実施し、指導する際の留意する事項などを学習した。参加者は38名であった。

【①管理栄養士・栄養士、②本会事務所外壁掲示板に掲示、ホームページ、③講座・セミナー、④講師は大学教授または専門家、受講者は管理栄養士・栄養士、⑤単独 ⑥非該当】

## 2. 拡充研修制度—特定職域・特定種類業務研修事業

### 2-1 職域研修制度

#### 行政栄養士協議会

##### (1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月25日(月)	第1回 中央研修会	講演 「研究発表・講演のためのポイント」 講師 千葉県衛生研究所 感染症学研究室 上席専門員 柴田 幸治 説明 「公益社団法人移行への取り組み」 千葉県栄養士会会長 長谷川 克己 講演 「食市場におけるマーケティング戦略」 講師 女子栄養大学栄養学部 食文化栄養学科 教授 高城 幸助 説明 「平成23年度健康づくり・栄養改善事業について」 講師 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 副主幹 國府 雅子	プラザ菜の花	67名  資料のみ 86名
9月 5日(月)	第2回 中央研修会	事例発表 「今回の東日本大震災での栄養士活動について」 助言者 日本栄養士会理事 西村 一弘 1. 千葉県からの災害派遣栄養士としての活動 ～宮城県石巻市への派遣報告～ 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 副主幹 國府 雅子 2. 東日本大震災における栄養士のかかわりと課題 旭市健康管理課 管理栄養士 實川 圭子 講演 「災害時の栄養士活動について」 ～災害派遣栄養士活動を経験して～ 講師 日本栄養士会理事 西村 一弘 講演 「食中毒の予防について」 講師 千葉県健康福祉部衛生指導課 主査 田邊 裕通	プラザ菜の花	72名  資料のみ 77名
12月17日(土)	第3回 中央研修会	講演 「食事指導と運動指導におけるコミュニケーションスキル」 ～人の心に火をつけさせる言葉とは～ 講師 Tanikawa パーンヘルスケア 代表 谷川 久美子 講演 「変わって行く糖尿病 知っておきたい糖尿病」 講師 東京医科大学第三内科 教授 植木 彬夫	プラザ菜の花	112名 会員72名 会員外40名  資料のみ 78名

## (2) ブロック別研修会

5ブロック（東葛・利根・黒潮・さざなみ・千葉市）ごとに地域特性にあった内容で研究や業務検討を行い、会員相互の資質向上に努めた。

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
東 葛 (合 同)	平成24年 1月17日(火)	講演「食品、環境の放射能汚染とその影響について」 講師 聖徳大学 人間栄養学部 教授 林 徹 業務検討 ・国民健康・栄養調査の効果的方法について（保健所） ・食育推進事業について（市町村）	船橋市保健所	43名 会員25名 会員外18名
東 葛 (保健所)	平成23年 6月13日(月)	業務検討および情報交換 講義「災害時の栄養食生活支援について」 講師 千葉県野田保健所 所長 新 玲子 報告「宮城県石巻市への派遣体験から」 講師 千葉県健康福祉部 健康づくり支援課 副主幹 國府 雅子 業務検討 ・災害時の保健所栄養士の関わりについて	野田健康福祉センター (野田保健所)	6名
	平成24年 3月13日(火)	業務検討 ・事業実施について ・災害時における保健所管理栄養士の役割と今後の課題について ・「給食運営現況報告書」「給食施設栄養管理状況報告書」について	柏市保健所	7名
東 葛 (市町村)	平成23年 7月 4日(月)	業務検討 ・各市実施事業について（重点および新規事業を中心として） ・栄養および食生活改善推進員関係外部講師と内容について	市川市 保健センター	16名
利 根	平成23年 6月27日(月)	(午前) (保健所のみ) 業務検討 ・給食施設指導事業について ・健康づくり事業について (午後) ・情報交換・グループワーク ・特定保健指導について	(午前) 印旛合同庁舎 (午後) 佐倉市健康管理センター	17名
黒 潮	平成23年 6月20日(月)	(午前) 1 平成23年度の事業計画について 2 業務検討 保健所「給食施設報告書について」 市町村「健康増進重点プロジェクト事業」の実施について (午後) 1 午前の業務検討のまとめ 2 講話「平成22年度千葉県54市町村特定健診・特定保健指導実施状況アンケート結果について」 講師：千葉県国民健康保険団体連合会 技術専門員 高野 きみ子 技術専門員 大谷 文子	長生合同庁舎 (長生保健所)	20名
	平成23年 8月 8日(月)	講話・演習 「乳幼児の口腔衛生 ～口腔内の機能トラブル～」 講師 千葉県歯科衛生士会 会長 岡部 明子	長生合同庁舎 (長生保健所)	21名 会員18名 会員外3名
	平成24年 1月23日(月)	(午前) 業務検討 保健所「健康ちば協力店事業について」 市町村「小児生活習慣病予防の効果的な事業実施に向けて」 (午後) 1 午前の業務検討のまとめ 2 平成24年度の計画について	長生合同庁舎 (長生保健所)	18名
さざなみ	平成23年 6月 9日(木)	業務検討 保健所：「乳幼児専門相談における栄養指導について」 市 町：「母子保健事業について」 －乳幼児健診後の事後指導について－	市原市健康福祉センター (市原保健所)	17名
	平成23年 10月11日(火)	業務検討 保健所：「栄養業務重点事業の取り組みについて」 市 町：「市町村健康増進計画・食育推進計画について」 全体討議 事務連絡  講演「検査値から生活習慣を予測する」 講師 ほたるのセントラル内科 院長 内田 大学	君津健康福祉センター (君津保健所)	26名 会員19名 会員外7名

病院栄養士協議会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月23日(土)	研 修 会	研修会 「震災後の職場で対応した困難な事例について」 意見交換会	千葉市 文化センター	65名
7月16日(土)	臨床栄養 セ ミ ナ ー	1.「カーボカウントとインスリン療法」 大阪市立大学医学研究科発達小児医学講師 川村 智行 2.「栄養士に必要な慢性腎臓病のデータ収集とその解釈」 昭和大学藤が丘病院 栄養科 科長補佐 菅野 丈夫 3.「消化器外科における術前術後管理の理論と実際」 医療法人 川崎病院 外科統括部長 井上 善文 4.「周術期栄養管理における最近の話題 -ImmunonutritionからPharmaconutritionへ-」 東京大学医学部附属病院 手術部准教授 深柄 和彦 5.「食と器のかかわり」 三信化工(株)新規事業室室長 渡辺 薫	京葉銀行 文化プラザ	236名
10月 8日(土)	栄養士調理師 合同研修会  第15回 研究発表会	特別講演1「東日本大震災を経験して」 講師 かとう内科クリニック 田村 佳奈美 (元福島労災病院栄養サポートセンター長補佐) パネルディスカッション 「栄養科における災害対策を考える」 1. 液状化現象によるライフライン寸断の経験 順天堂大学浦安病院 尾崎 眞五 2. 千葉地区災害対策アンケート調査の報告 三橋病院 日高 芳子 3. 柏地区災害対策アンケート調査の報告 辻仲病院柏の葉 布 沙織 4. 習志野地区災害対策アンケート調査の報告 新八千代病院 大嶋 晶子 5. 県内医療機関栄養業務実態調査からみた災害対策 病院栄養士協議会学術部 板場 敦 特別講演2「管理栄養士によるNSTマネジメント術」 講師 かとう内科クリニック 田村 佳奈美 (元福島労災病院栄養サポートセンター長補佐) 一般演題 3題	プラザ菜の花	60名
平成24年 1月21日(土)	臨床栄養研修会	講演1 「急性期ならびに慢性期における呼吸器疾患の栄養アセスメント」 駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科准教授 田中 弥生 講演2 「栄養士の社会貢献について」 (社)千葉県栄養士会理事 総務部長 高澤 博道	千葉市 文化センター	52名
(Ⅰ) 10月23日(日)	ブラクティス セ ミ ナ ー	テーマ 「はじめて学ぶ栄養士のためのレントゲン写真」 1. 症例提示から学ぶ！腹部レントゲン写真 帝京大学医学部外科学講座教授 福島 亮治 2. 症例提示から学ぶ！胸部レントゲン写真 玄々堂君津病院腎臓外科副院長 大崎 慎一	千葉市生涯 学習センター	49名
(Ⅱ) 12月11日(日)				52名
地区研修会				
地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
千葉地区	平成23年 10月27日(木)	「嚥下一般」 講師 渡久地 幸子	井上記念病院 職員食堂	11名
	平成24年 2月17日(金)	「生活習慣病としての歯周病を理解する」 講師 三辺 正人	井上記念病院 会議室	15名
習志野地区	平成23年 6月 3日(金)	「低栄養へのアプローチ」 「非常災害時の対応について」 講師 味の素ニュートリション 藤吉 静香	東京湾岸リハビリ テーション病院	7名
	平成23年 9月 9日(金)	「咀嚼・嚥下障害にケア」 講師 テルモ株式会社 斎藤 亜希	東京湾岸リハビリ テーション病院	8名
船橋地区	平成23年 7月19日(火)	「2型糖尿病の病態と治療」 「東日本大震災・被害者支援事業「炊き出し」ボランティアに参加して」 講師 国立病院機構千葉東病院 関 直人	船橋保健所 会議室	52名
	平成23年 9月30日(金)	「カーボカウントを用いた糖尿病治療指導について」 講師 千葉市立青葉病院 高倉 由美子	船橋二和病院 ふたわ診療所 会議室	15名
市川地区	平成24年 2月 9日(木)	「摂食・嚥下について」 各病院のソフト食などについての情報交換会 講師 明治乳業株式会社 甲斐谷 真澄	市川文化会館	4名

地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
柏 地 区	平成24年 6月16日(木)	「東日本大震災 地区内状況報告会」	辻仲病院柏の葉	10名
	11月25日(金)	「糖尿病の新しい治療」 カーボカウンティングを含めて 講師 柏市立病院 稲澤 健志	さわやか千葉 県民プラザ	49名
香 取 地 区	7月29日(金)	「糖尿病治療—カーボカウントとインクレチン関連製剤に関して—」 講師 小見川総合病院 廣田 悠祐	小見川総合病院	21名
	平成24年 2月24日(金)	「静脈栄養の基礎」 講師 テルモ株式会社	県立佐原病院	12名
海 匝 地 区	7月 5日(火)	「輸液について」 講師 大塚製薬 山田 健介	旭 中 央 病 院	15名
山 武 地 区	8月26日(金)	施設見学会 養命酒・北川製菓・かんでんぱぱ	グランツーリズム ( 長 野 )	6名
	平成24年 2月 9日(木)	「CKDの食事療法について」 「栄養サポートについて」 講師 キッセイ薬品株式会社 海沼 良幸	東 金 病 院	6名
茂 原 地 区	7月22日(金)	症例検討会	長 生 病 院	11名
	平成24年 3月 9日(金)	病院スタッフ合同研修会 検査値や症例について 講師 長生病院 外科 阿部 恭久	長 生 病 院	70名
勝 浦 地 区	平成24年 2月23日(木)	視察研修会 東京ガス業務用厨房ショールーム「厨BO!SIODOME」	※ 夷 隅 郡 市 栄養士会へ参加	5名
鴨 川 地 区	平成24年 1月12日(木)	「災害に対する対策について」 講師 野田 さやか	亀田総合病院	5名
	9月 8日(木)	「風邪をひかないための水分補給の仕方について」 講師 大黒 謙一郎	館山市コミュニ ティーセンター	12名
館 山 地 区	9月 8日(木)	「糖尿病の治療について」 講師 大日本住友製薬株式会社 吉田 英敏	安房地域医療センター 2F 集団指導室	17名
	平成24年 3月 9日(金)	調理研修「太巻きすし」 講師 角田 明美・磯辺 節子	道の駅 鄙の里 内カントリーマム	14名
木更津地区	11月16日(水)	「糖尿病性腎症」 講師 中村 晋	君津中央病院	61名
		「脂質代謝」 講師 江尻 喜三郎	君津中央病院	54名
		延べ件数23件	延べ参加数 492名	
機 関 紙 発 行 「菜の花」75号～77号				

#### 学校健康教育協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月22日(金)	研 修 会	「ガッテン流教材研究のすすめ」 講師 NHK科学・環境番組専任ディレクター 北折 一	千葉県教育会館	348名
11月19日(土)	秋 季 研 修 会	食文化研究 講師 林 訓美	鎌 倉 凜 凜	35名
3月10日(土)	調 理 講 習 会 および研修会	千葉県の郷土料理研究および食に関する指導媒体講習会 講師 千葉伝統郷土料理研究会 杉崎 幸子	船 橋 市 立 坪 井 中 学 校	45名

#### 福祉栄養士協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月22日(金)	特 別 講 演 会	「嚥下食ピラミット」 講師 浜松大学教授 金谷 節子	千葉市保健所	52名
8月 3日(水)	研 修 会	「成分表改定の解説」 講師 千葉県立保健福祉医療大学教授 渡邊 智子	千葉市民会館	87名 (会員外21名含)
10月18日(火)	研 修 会	「摂食・嚥下機能と食環境から考える」 講師 管理栄養士 江頭 文江	千葉市民会館	67名 (会員外8名含)
11月 8日(火)	調 理 実 習	「べこ餅を行事食に」 講師 管理栄養士 小泉 蜜江	蘇 我 勤 労 市 民 プ ラ ザ	39名 (会員外5名含)
平成24年 1月18日(水)	研 修 会	「障害児・者施設における栄養ケア・マネジメント」 講師 管理栄養士 横江 雅子	蘇 我 勤 労 市 民 プ ラ ザ	31名 (会員外5名含)

集団健康管理栄養士協議会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月23日(土)	見 学	流通について市場の見学	海 賊 の 台 所 船橋中央卸売市場	12名 委任状17通
12月17日(土)	見学・試食	漢方について 薬膳試食 味の素の誕生から現在までの歴史が展示された博物館と食の図書館見学	漢方ミュージアム 食とくらしの 小さな博物館	12名
3月26日(月)	見 学	企業・病院からの産業廃棄物の処理について見学	ク レ ハ 環 境 かながわ事業所	7名
地域活動栄養士協議会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 4月23日(土)	研 修 会 (第1回)	時間栄養学 女子栄養大学副学長 教授 香川 靖雄	保健医療大学	126名
8月3日(水)	(第2回)	調理実習 新しいガス器具の便利な機能を学ぶ	京葉ガス市川 ショールーム	25名
10月29日(土)	(第3回)	スポーツ栄養の理解を図ろう 相模女子大学 講師 柳沢 香絵	保健医療大学	43名
6月22日(水)	視 察 研 修	大多喜薬用植物園、千葉県立中央博物館大多喜分館の見学 ハーブガーデン	大 多 喜	16名
10月6日(木)	視 察 研 修	ホキ美術館(写実絵画鑑賞) イタリアンレストラン「はなう」	千 葉 市	15名
平成24年 1月26日(木)	情 報 交 換 事 業	季節の味覚探訪 苺の栽培、醤油醸造等学習	東 庄、旭 方 面	14名
	会 報 発 行	147号～150号		
千葉支部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成23年 10月12日(水)	研 修 会	「東日本大震災の被災状況および給食施設での具体的な対応について」 岩手県一関保健所保健課 澤口 真規子	千葉市総合保健 医療センター	285名
12月9日(金)	日本栄養士会との 共同研修事業	セミナー「牛乳を科学する」 第一部 基調講演 「知っておきたい牛乳の基礎知識」 玖村 朗人 第二部 パネリスト講話 「子どもにとっての牛乳の重要性」 児玉 浩子 「牛乳・乳製品と各ライフステージへの食育の展開」 石田 裕美 第三部 パネルディスカッション	千葉市総合保健 医療センター	179名
<p>いずれの事業も①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ、③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士、関連諸科学の研究者および実務家 ⑤単独(一部共催) ⑥非該当として行った。</p>				
<p><b>3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業(組織部)</b></p> <p>本会の公益目的事業が、県民の健康づくりに極めて重要であることは論を待たない。公益目的事業の成否を決するのは人である。管理栄養士・栄養士が主体的にこの事業に参加する状況をつくるには、事業の意義や必要性への理解を絶えず深化させるための働きかけが欠かせない。管理栄養士・栄養士の理念や使命、業務の意義、公益目的事業の内容などを伝える刊行物をつくり普及し、また、集団的または個別的に働きかけることなどをおして本会の公益目的活動に目的意識を持って参加する管理栄養士・栄養士を確保する事業である。人材確保のための入会案内を4月に総務部と協力して病院・福祉の施設393ヶ所に送付したが実際に入会したのは、その内の1%であった。また、会員から未入会の管理栄養士・栄養士に入会の勧奨をするよう「会員拡充運動の推進のお願い」の文書を会報第108号(栄養千葉8月号)と一緒に配布した。県内の4養成施設の卒業予定者に対し「入会のおすすめ」の配布をお願いした。併せて、栄養士養成施設の2施設に会長が出向いて卒業予定者に卒業研修の必要性和栄養士会の事業などを説明し入会の勧奨を行うなどにより、公益活動を強化するための人材確保に努めた。</p> <p>【①県民 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ、③その他 ④中身を管理栄養士・栄養士が吟味 ⑤単独 ⑥該当なし】</p> <p>以上の個々の事業は、何れも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。</p> <p>事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどを事務所掲示板やホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。</p> <p>事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務化養成の見地から、適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質を確保した。</p> <p>その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う管理栄養士・栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。</p>				

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物等による知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをととして、県民の健康で裕り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項3号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをととして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9にも該当する)。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをととして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9にも該当する)。
<b>事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】</b>	
<p>健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照を謳っており、本事業は、管理栄養士・栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3の柱からなり、(1)一つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)二つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)三つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をととして、本会は、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成23年度事業実施の概要を記載する。</p>	
<b>Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業 (定款第4条第1項第3号)</b>	
<b>1. 個別特性対応型の自律支援事業</b>	
<b>1-1 テレフォン栄養相談事業 (広報部)</b>	
<p>毎週月曜日の10時から16時まで、県民や管理栄養士・栄養士に対し健康づくりや栄養に関する疑問を直接電話で受け付け、相談員が回答を行う事業である。今年度の年間相談件数は43件、相談内容は食品に関することや調理についての相談が多かった。また、相談件数増加のために事業の案内を名刺サイズにして作成し、11月に実施した「健康フェスタ2011」などのイベントや介護セミナーなどで配布し事業の広報に努めた。また、相談を受ける際の問題点や事業の実施方法の充実に向け年2回、テレフォン相談担当者会議を開催した。</p> <p>【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、ホームページ、本会事務所外壁掲示板 ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<b>1-2 特定保健指導の実施 (総務部)</b>	
<p>平成20年4月から、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を実施し、メタボリックシンドローム該当者、あるいはその予備群とされた者に対して、生活習慣病発生のリスクに応じた保健指導(特定保健指導)を実施した。本会が、各種医療保険者の委託を受け、6ヶ月または3ヶ月の継続した支援を行い、対象者自らが作成した計画の実践について評価を行った。平成23年度は、旭化成ライフサポート(株)、保険者、本会で3者契約を結び、特定保健指導29件を実施した。その内5件は、23年度から始めた中央建設国保の千葉土建保険組合員と家族の保健指導であった。</p> <p>【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③相談、助言 ④管理栄養士・栄養士による相談、助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<b>1-3 介護予防栄養改善事業 (総務部)</b>	
<p>2006年(平成18年)4月からの改正介護保険法において「地域支援事業」が創設され、その中核となっているのが「介護予防事業」である。23年度の御宿町の介護予防事業「元気いきいき教室」を(株)ニチイ学館が受託し、栄養改善プログラムの実施を本会が担当し講話やグループワーク、調理実習などを9回にわたって行った。参加者は17名であった。</p> <p>【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③助言・指導 ④管理栄養士・栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】</p>	
<b>2. 集団特性対応型の自律支援事業</b>	
<b>2-1 健康づくり栄養フェスタの開催 (事業部)</b>	
<p>平成22年(2010年)から糖尿病週間に合わせ、栄養、運動、休養を中心に県民の食と栄養を通じた健康づくりや、生活習慣病の予防を支援するため、千葉駅近くの千葉そごう協のセンシティタワー南北通路において開催した。23年度(2011年)は、千葉県歯科衛生士会、千葉県放射線技師会の協力を得て、11月5日(土)に前年度と同じ場所で開催した。内容は①身体計測(身長、体重・体組成)</p>	

骨密度の測定②健康・病態の食事相談と歯科相談③健康ミニ講話10回④生活習慣病関連のパネルとフードモデルの展示などを行った。各コーナーへの参加者は899名であった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③相談・助言、体験学習、講座・セミナー、その他 ④管理栄養士・栄養士、歯科衛生士放射線技師などの専門職 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-2 千葉市ヘルシーカムカムへの協力事業（千葉支部）

歯の衛生週間の行事として千葉市、千葉市歯科医師会の主催により、「ヘルシーカムカム2011」が5月29日(日)、そごう千葉店6階特設会場で開催され3,348名が来場した。本会は、千葉市教育委員会などの4団体とともに共催団体として開催に加わり、「楽しい食事の紹介」のコーナーを7名の会員が協力して、市民の歯から始まる健康づくり思想の高揚に努めた。「歯の健康を保つ食事」と題したパネル（6枚）と「食事バランスガイド」の「立体こまレプリカ」（食品模型）と食事の実例を展示し子どもたちに好評を得た。コーナーへの来場者は326名で49名に栄養相談を行った。

【①県民 ②市政だより、(社)千葉市歯科医師会ホームページ、本会ホームページ ③相談・助言、講座・セミナー、その他 ④事前に開催する担当者会議で前年度の反省を含めて検討 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-3 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉支部）

今年度は「みんなで考えよう！たばこ健康 ～応援します！あなたの卒煙～」をテーマとして平成23年10月15日(土)に千葉市きほーるにおいて開催した。本会は、新世紀ちば健康プラン推進協議会の構成員として協力し、健康フェアにおける食生活コーナーの運営、病態栄養相談の実施、親子料理教室の運営などを行い、市民の健康づくりに寄与した。食生活コーナーにおいて、「生活習慣病の予防は子どもの頃から」をテーマにパネル・食品模型の展示のほか、クイズ、食生活相談、試供品の配布などを行い、コーナーには360名が来場した。病態栄養相談は生活習慣病の予防などに関する相談を52名に行った。これらの運営には、会員10名が協力して当たった。総来場者数は1,825名であった。

【①市民 ②市政だより、本会のホームページ ③相談・助言、講座・セミナー ④関連専門職 ⑤単独（主催団体） ⑥非該当】

## 2-4 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間にあたり、千葉県と助成は県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地（多くの地域住民が集まるショッピングセンター内など）で開催され、県民のがん予防、健康の増進意識の高揚に役立っている。内容はがん予防に関する講演と週末（土・日）の2日間に展示・相談を中心に「がん予防展」が行われ、本年度は、9月10日～11日にイオン津田沼店において開催した。開催地域の習志野市の行政及び病院栄養士協議会会員などの協力を得て、がん予防に役立つパネルなどの展示とがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談などを行った。食生活コーナーでは「野菜を計ってみよう」を行い親子連れに大変好評であり、参加者は2日間で延べ462名であった。

【①県民 ②主催者より広報、本会ホームページ ③相談・助言その他 ④管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-5 地域健康づくり推進事業（病院）

県内17の地区活動として各地区内の市町村あるいは医療機関、他医療職種の職能団体が開催する健康づくりイベントに協力し、地域住民のニーズに応え、食生活自律の支援活動を行った。市原地区「夏休み子供料理教室」8月17日、茂原地区「みんなの健康フェスタ2011」10月23日、野田地区「健康づくりフェスティバルー上手に食べてがん予防ー」10月16日、習志野地区「済生会習志野病院健康フェスタ」11月26日、海匠・茂原地区「看護の日『健康祭り』協力」5月14日、海匠・山武・茂原地区「看護協会『まちの保健室』の栄養相談」延べ7日間行った。

【①県民 ②主催者により広報 ③相談・助言、その他 ④管理栄養士・栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-6 看護の日行事への協力事業（千葉支部）

例年は看護協会の主催する「看護の日」行事に参加し栄養相談コーナーの運営を担当しているが、23年度は本会の総会と重なり、協力できなかった。

【①県民 ②主催者が広報 ③相談・助言 ④専門職が担当 ⑤単独（事業協力） ⑥非該当】

## 2-7 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

県民の食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会）の共催により、平成23年9月28日(土)千葉県ほかの後援を得て開催した。本大会は2部構成とし1部は「3団体の式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」を京葉銀行文化プラザ音楽ホールで行った。千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学教授の渡邊智子先生による「命を守る食事学」「知っておきたい栄養の基礎と非常時の応用について」の講演を行い、会員および県民合わせ412名（内県民24名）の参加があった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-8 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民自らが望ましい食生活のあり方や運動習慣を身につけることができるよう支援し、健康づくりにおける栄養・運動・休養の重要性を県民に普及し、健康づくりを支援することを目的に公開講座を実施した。講座は平成23年10月23日(日)に千葉県立保健医療大学を会場に開催した。テーマを「できることから始めよう！千葉県栄養士会がお勧めする元気になる食生活」として「バランスの良い食事ってなんだろう」千葉県立保健医療大学 教授 渡邊智子 先生、「上手に選んで・上手に作っておいしく食べよう」昭和学院短期大学 教授 松本晴美 先生、「今すぐ実践！生活の中の運動」和洋女子大学 助教 北村裕美 先生がそれぞれ60分の講演を行い、県民の食と栄養を通じた健康づくりを目指す公開講座を実施した。参加者は56名であった。

【①県民、②本会事務所壁面掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布、③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-9 食育健康料理教室の開催（事業部）

平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を図ることを目的として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催して講師を含むスタッフ5名で運営することとした。今年度は「千葉の野菜

で元気もりもり」をテーマに季節感・年齢を加味して各講師が献立を作成し、事業部理事、地域活動協議会会員、事務局員、開催地市町村管理栄養士などと協力して、開催地区を10会場（君津市、茂原市、酒々井、市原市、鴨川市、市川市、習志野市、松戸市、船橋市、千葉市）として行った。8月～12月の間に開催し、延べ参加者は195名（大人186名、小人9名）であった。

（千葉支部）

①秋休み親子料理教室 健康フェア事業の一つとして千葉市との共催により、近隣小学校などの協力を得て、10月15日(土)、千葉市・きぼーる4階調理実習室において親子8組20名を対象に食育と健康づくり料理教室を開催した。子どもたちの笑顔が素敵な楽しい催しになった。運営には会員5名が協力して当たった。

②冬休み親子料理教室の開催 千葉市と近隣小学校の協力を得て、12月18日(日)、千葉市ハーモニープラザにおいて親子12家族30名を対象に食育と健康づくり料理教室を開催した。子どもたちの笑顔が素敵な楽しい催しになった。運営には会員5名が協力して当たった。

【①県民 ②本会事務所外壁の掲示板、ホームページ、親子料理教室の場合は近隣の小学校へ依頼 ③体験学習（料理教室） ④管理栄養士・栄養士が企画、実施 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-10 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

健康づくりや生活習慣病予防などに関係する各種の講演会、研修会、料理講習会、栄養指導、栄養相談等で設けられた講演プログラムに対応して、本会が、講演を行った。千葉市社会福祉協議会主催「セミナー」、県内各地の公民館および千葉県血液センターなどにおいて行った。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-11 親子料理教室の開催（学校）

児童生徒と保護者を対象にして行う、親子料理教室を7月26日(火)に市川市、8月2日(火)に野田市、2月18日(土)に習志野市の学校で開催した。延べ参加者数は153名であった。家庭との連携をとりながら食育を推進する手立てとして親子料理教室の開催は大変有意義な事業であった。父親の参加も多数あり、子どもたちの輝く笑顔が素晴らしい料理教室となった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板に掲示、ホームページ ③体験学習（料理教室）、講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-12 第1回講演会「食からはじめる子どもの健全育成ー生活習慣と健康障害の立場から」の開催（研教）

本協議会の「研究および研究に携わる栄養士の専門性に関する事項、教育および研究に携わる栄養士の資質の向上に関する事項」と県民の健康の維持増進に寄与するための事業として行った。4月25日、和洋女子大学を会場に和洋女子大学校医・東京女子医大名誉教授・こどもの城小児保健クリニック院長 村田光範氏に講演いただいた。研究教育分野に従事する管理栄養士・栄養士30名の参加と会場である和洋女子大の学生約100名の参加があった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④医師 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-13 第2回講演会「お腹の健康と免疫」の開催（研教）

本協議会の「研究および研究に携わる栄養士の専門性に関する事項、教育および研究に携わる栄養士の資質の向上に関する事項」と県民の健康の維持増進に寄与するための事業として行った。12月4日、京葉銀行文化プラザを会場にヤクルト本社首都圏支店参与 山中正和氏に「おなかの健康とプロバイオテックス」、千葉県栄養士会総務部長高澤博道氏に「栄養士会の歴史・県民の健康を願って」の講演を行った。参加者は研究教育分野に従事する管理栄養士・栄養士および県民を含め約50名であった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④医師 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-14 食育のつどい開催への協力事業（千葉支部）

食育月間の行事として平成23年6月22日、千葉市文化センター3階アートホールにおいて「食育こそ、自律と自立の要」として昭和女子大学大学院、教授 渡辺満利子氏が講演し、県民290名が参加した。本会は、千葉市食育推進協議会関係団体と協力して食育の啓発に努めた。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

## 3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

### 3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

公益社団法人への移行準備として県民に広く情報を提供するためホームページのリニューアルを行った。ホームページ委員会を年12回開催し、内容を全面的に見直し、11月24日に更新した。新着情報などが分かりやすくなり関連ページへのリンクもし易くなったと好評を得ている。ホームページ運営委員会において10月から年度末まで更新のための研修を行いながら更新を行っている。24年度からは、更新のための作業は、ホームページ運営委員が自宅などにおいて随時、パソコンから直接行えることになった。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士・栄養士が記事を書き編集している ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報新聞の毎週日曜日の「現代食事考」欄に食と栄養を中心とした健康づくりに関する記事を提供した。原稿は年間執筆計画を作成し、各協議会に振り分け、会員が分担し執筆した。今年度は掲載1,000回の特別記事を含め年間51回の掲載となり、千葉日報社のホームページにも掲載され、本会のホームページともリンクしている。

【①県民 ②新聞の記事、ホームページ ③その他（記事提供） ④管理栄養士・栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-3 NHK千葉FM「千産千消の食生活『食と健康』」放送協力事業（事業部）

NHK千葉放送局の依頼を受け千葉FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」の番組に「食と健康」をテーマにアナウンサーとの10分間にわたる生放送の対談番組に会員が出演し、番組制作に協力している。本年度は、4月18日放送の「一人暮らしの食事」をはじめとして、16回にわたって「食と健康」に関する情報の提供を行った。

【①県民 ②本会事務所外壁の掲示板、ホームページ ③その他（情報発信） ④管理栄養士・栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

地域の健康づくりイベントや職場の健康に関する行事に資料掲示として活用してもらうためパネルを作成し、貸し出しを行っている。今年度はがん予防と食事のパネル2枚を修正した。パネルの貸し出しは7件であった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士・栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、何れも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、講演会、展示会、集会等の内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどを事務所掲示板やホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に関係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、管理栄養士・栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項4号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業（公益法人認定法別表19号）」にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業（公益法人認定法別表19号）」にも該当する。

#### 事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。すなわち、本事業は、(1)栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築、(2)栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰、(3)適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことをおして、県民の食環境を望ましいものにするべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲げる個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、平成23年度の事業実施の概要を記載する。

## IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）

### 1. 連携構築事業

#### 1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）

関係機関・関係団体の各種地域づくり・各種健康づくりに関する委員会・会議に本会から参画するほか、催しに協力し各種健康づくりや疾病予防に関する事業を推進することをおして連携の構築を図った。平成23年度の関係機関・団体、各委員会・会議と催しを下記に挙げる。

（関係機関・関係団体）(社)千葉県医師会、(社)千葉県歯科医師会、(社)千葉県看護協会、(社)千葉県歯科衛生士会、(社)千葉県調理師会、(社)千葉県放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会、(財)ちば県民保健予防財団

（関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織）千葉県小児保健学会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会 千葉県糖尿病対策推進会議

（催しへの協力）(社)千葉県歯科衛生士会主催：千葉県栄養士会協力「かむ子・のびる子・元気な子 健康かみかみ弁当料理コンクール」への協力（料理審査担当、栄養士会会長賞有り）、(社)千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」への協力（料理審査担当、栄養士会会長賞有り）、（厚労省）スマートライフプロジェクトフェア（すこやか生活習慣病国民運動）への協力（開催日：11月23日（水・祝）、場所：柏の葉公園、栄養相談コーナーを担当し相談者88名）、（農水省：関東農政局千葉地域センター）お弁当作りハンディレシビ集作成への協力。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他 ④専門職的な知見を有する者 ⑤共催 ⑥非該当】

#### 1-2 調理師試験受験準備講習事業に対する協力事業（事業部）

本会は平成12年度から、(社)千葉県調理師会が行う「調理師試験対策事業」に協力することとし、「調理師試験対策委員会」を設置して必要な事業を行っている。事業は、受験準備講習会の運営協力と「調理師試験問題の正解と説明」の作成などを行っている。講習会では、7科目受験のうち食品衛生学を除く食文化概論、衛生法規、公衆衛生学、栄養学、食品学、調理理論の6科目を担当した。平成23年度は、県内14会場で開催された講習会に延べ65名（講師23名）を本会の管理栄養士が担当した。

管理栄養士、栄養士は、特定給食施設等で栄養管理や栄養指導などの業務に従事し、調理師とともに同一の職場で働いている。食事の提供業務で最も重要なことは、衛生的に安全安心な食事の提供であり、そのためには、調理の現場まで含めてそれに相応しい人的体制が構築される必要がある。この点、食品の衛生的な取扱いに精通した調理師の有資格者をより多く増やす必要がある。調理師の協力がなければ、安全な食事の提供はできないとすらいふことができる。管理栄養士・栄養士と調理師がそれぞれの専門性を生かすことにより食事がおいしく安心できるものとなる。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

### 2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）

栄養改善に顕著な功績のあった管理栄養士・栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い管理栄養士・栄養士の研究を奨励、振興を目的に栄養改善奨励賞の授与を行っている。栄養改善に顕著な功績のあった者を顕彰し、その活動を讃えることは、栄養改善事業の振興につながるものである。平成23年度は第12回千葉県栄養改善学会の一般演題について、顕彰審査会を開催して審査を行い次の4題を表彰に値するとして理事会に推薦し決定した。表彰状の授与は千葉県栄養士会総会式典において行う。決定した内容は○高野聡美 三辺正人 原井一雄「歯周病患者の食習慣に関する実態調査から」、○石橋裕子「当センターにおける術前経口補水の導入について」、○西井大輔 他12名（病院栄養士協議会）「第8回千葉県内医療機関栄養業務実態調査から」、○山本理恵他12名（木更津市単独給食校栄養士会）「食に関する指導の充実を目指して」であった。

【①管理栄養士・栄養士、栄養関係団体・個人 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 適正な食生活を支援する制度の整備

### 3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

千葉県では、平成18年度に5名の栄養教諭の配置があつてから平成23年度は58名の配置になっているが、まだまだ少ない状況にある。平成23年12月20日に昨年度に引き続き、千葉県教育委員会教育長に対し栄養教諭の配置の効果に関する調査結果などを添付して、学校栄養職員の栄養教諭免許取得者の全員を栄養教諭への任用替えと市町村費負担の学校栄養職員の栄養教諭への門戸の拡大を要望した。

【①学校給食に携わる管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他 ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、何れも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号及び事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるようにした。

事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりを行った。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与すると目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

## V. 法人運営に関する事業

### 1. 各種事業の充実への取り組み

#### 1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各部担当者会議、各種委員会などを定期的に開催した。平成23年中の公益社団法人への移行を旨として公益法人移行対策委員会を4回開催し、内3回を12月15日の本申請前に開催した。職域協議会会長会議を2回開催し、職域協議会事業の充実と相互理解を深めた。

#### 1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局職員の業務分担や業務の処理方法などを明確にして、業務の効率的・適正な運営を図り、会員管理および会員対応事務と各種事業の実施に伴う事務局業務の充実を図った。

#### 1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

第1回 8月27日(土) ○特定保健指導の実施について ○会員減に伴う平成24年度公益事業の見直しと公益事業比率の確保について ○その他、第2回 12月3日(土) ○平成24年度公益事業の検討について ○特定保健指導等の実施について ○その他

#### 1-4 職域協議会事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

各部との合同により職域協議会事務担当者会議を7月30日(土)に開催し、各種業務の円滑な実施に努めた。会議日程を1日とし、午前、[「栄養士・栄養士の課題と今後の取り組み」、午後、「公益社団法人に向けた組織の強化と事業の充実について」]のグループワーク研修を行った。最後に各種事業の円滑な実施を中心に職域協議会の運営に関し、担当別に分けた会議と全体会議を開催し各種業務の理解と周知に努めた。

#### 1-5 組織・財政問題検討委員会の開催（総務部）

公益法人移行対策（検討）委員会と合同で会議を開催した。第1回 6月18日(土) ○定款および諸規程の見直しについて ○今後のスケジュールおよび進め方について ○第三次組織強化長期計画の推進について ○その他、第2回 12月3日(土) ○公益社団法人移行申請書の提出について ○第三次組織強化長期計画の推進（会員減への対応）について ○その他、第3回 3月3日(土) ○公益社団法人移行申請と今後の対応について ○第三次組織強化長期計画の推進（会員減への対応）について ○その他

#### 1-6 公益法人移行対策委員会の開催（総務部）

4回開催した内の3回は、組織財政問題検討委員会と合同で開催した。合同会議は上記を参照。第1回 6月18日(土) ○定款およ

び諸規程の見直しについて ○今後のスケジュールおよび進め方について ○その他、第2回8月27日(土) ○申請書類の検討について ○その他

### 1-7 協賛会員対策の推進 (総務部)

機関紙「栄養千葉」とHPに優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、職域協議会の研修会における展示会の開催の促進を図った。日本栄養士会の賛助会員対策を参考にして本会の協賛会員対策の検討を行う予定であったが諸般の事情によりできなかった。

### 1-8 非常災害時支援体制の整備 (総務部)

特定給食施設の非常災害時に備えた体制の整備に役立つ情報の提供、地域住民に対する非常災害時の支援活動の方法の検討などはできなかった。

### 1-9 会費の自動払込みの促進 (総務部)

会費の早期納入、事務局作業の省力化と徴収時の事故防止の観点から、機関紙第108号から巻末に自動引き落としについて詳細に記載し、依頼者の増加に努めた。23年度会費自動引き落とし依頼者は、394名にとどまっており、今後とも職域協議会の研修会などを通じて自動振込み制度の周知に努め、利用の普及を図る必要がある。

### 1-10 財政基盤の強化 (総務部)

事務所の建設に伴い金融機関から融資を受けたことから、年間約60万円の返済が平成26年9月まで必要になるほか、固定資産税の支払いが生じるなど支出が増加している。公益社団法人への移行に向けて、財政基盤の強化が必要であることから、会員の協力を得て財政基盤の基礎となる正会員および協賛会員の拡充確保に努めたが正会員数は22年度に比べ518名減少した。その内475名は、学校健康教育協議会の会員であった。会員減に伴う収入減があることから24年度事業の見直しを検討した。また、事務局職員を1名減らした。入会促進のための入会案内を4月に組織部と協力して病院・福祉の施設393ヶ所に送付したが実際に入会したのは、その内の1%であった。各種事業の経費の節減対策と事務局業務のより効率的な運営を行い、財政基盤の強化に努めた。

### 1-11 栄養士職場問題対応委員会の運営 (総務部)

会員の職場における問題などについて、会員の立場に立って、問題解決に必要な支援を行っているが委員会の開催はなかった。

### 1-12 日本栄養士会関係会議への出席 (総務部)

通常総会および法人会員会を始めとする各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

東日本大震災に伴う災害支援金の募集に対して会員、職域協議会等から352,181円の支援金が集まった。その内100,140円を日本栄養士会に支援金として送金し、本県からの災害支援のボランティアとして協力をしていただいた方の交通費8,495円、県内で被災された会員の支援に30,000円、被災県の岩手、福島、宮城の各県栄養士会への支援に213,546円を送金した。

### 1-13 諸規程の整備 (総務部)

公益社団法人への移行に向けて、定款、定款施行細則、職域協議会規程、情報公開規程、役員報酬等に関する規程、役員選任規程等の制定。

### 1-14 公益社団法人移行に向けた取り組み (総務部)

公益社団法人への移行に向け不明な点などについて会長、総務部長、事務局長等が関係機関などへ出向き相談した。また、公益社団法人への移行を踏まえて日本栄養士会の顧問弁護士の前野貴文先生と本会事務所において全事業の公益性と事業区分の見直し、申請書の作成、その他移行に向けての準備などの指導を得た。また、本会と業務委任契約をしている石井文雄税理士に申請に関わる財務諸表の作成の指導、助言などを受けた。県公益法人室への個別相談2回、セントラル法律事務所(東京:新橋)へ4回、本会事務所での前野弁護士との打ち合わせ7回、石井税理士との打ち合わせ4回などを実施。

## 2. その他

### 会議の開催状況 (理事会、部長会)

#### (1) 理事会

##### 第1回 4月9日(土)

- 平成22年度収支決算報告および監査報告について
- 平成23年度予算案について
- 平成23年度通常総会の運営について
- 平成23年度生涯学習研修会の開催について
- 日本栄養士会会長表彰候補者の推薦について
- 新公益法人への移行について
- その他

##### 第2回 5月13日(土)

- 平成23年度生涯学習研修会の開催運営について
- 平成23年度事業の執行について
- 新公益法人への移行について
- 事業・会議等予定について
- その他

##### 第3回 7月2日(土)

- 平成23年度事業の執行について
- 臨時総会の開催について

#### ○その他

##### 第4回 9月3日(土)

- 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
- 平成23年度会長表彰の決定について
- 臨時総会の開催運営について
- 健康づくり栄養講座の開催運営について
- 新人研修会の開催運営について
- 健康づくり栄養フェスタ2011開催運営について
- 特定健診・特定保健指導担当者スキルアップ研修会の開催運営について

##### ○千葉県栄養改善学会の開催運営について

##### ○公益社団法人への認可申請について

#### ○その他

##### 臨時理事会 9月28日(水)

- 新定款の一部見直しについて
- 公益認定申請用平成23年度事業計画の詳細版について
- 会員減に伴う経費の節減について
- その他

##### 臨時理事会 10月31日(月)

- 公益申請移行に係る申請書類の提出について
  - その他
- 第5回 1月12日(木)
- 千葉県栄養改善学会の演題の確保と開催運営について
  - 平成23年度事業報告・収支決算の作成について
  - 平成24年度事業計画・予算案の作成について
  - 平成24・25年度役員選挙の実施について
  - 平成24年度通常総会の開催について
  - 平成23年度収支見込について
  - その他

- 第6回 3月17日(土)
- 平成23年度事業報告の作成について
  - 平成24年度事業計画・予算案の作成について
  - 各種委員会の再編成と役員選出について
  - 平成24年度通常総会の開催について
  - その他

## (2) 部長会

- 第1回 5月9日(月)
- 平成23年度通常総会の開催運営について
  - 平成23年度生涯学習研修会の開催運営について
  - 平成23年度事業の執行について
  - 新公益法人への移行について
  - 事業・会諫日程について
  - その他

- 臨時部長会 5月21日(土)
- 経費節減に伴う事業の見直しについて
  - その他

- 第2回 6月18日(土)
- 平成23年度事業の執行について
  - 臨時総会の開催について
  - その他

- 第3回 8月27日(土)
- 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
  - 臨時総会の開催運営について
  - 健康づくり栄養講座の開催運営について
  - 新人研修会の開催運営について
  - 健康づくり栄養フェスタ2011開催運営について
  - 特定健診・特定保健指導担当者スキルアップ研修会の開催について
  - 千葉県栄養改善学会の開催運営について
  - 公益社団法人への移行対策について
  - その他

- 臨時部長会 10月22日(土)
- 平成24年度各部・各職域協議会事業の見直しについて
  - その他

- 第4回 12月3日(土)
- 千葉県栄養改善学会の演題の確保と開催運営について
  - 平成23年度事業報告・収支決算のとりまとめについて
  - 平成24年度事業計画・予算案の作成（職域協議会含む）について
  - 平成24・25年度役員選挙について
  - 平成24年度通常総会の開催について
  - 平成23年度収支見込について
  - その他

- 第5回 3月3日(土)
- 平成23年度事業報告案の作成について
  - 平成24年度事業計画・収支予算案の作成について
  - 各種委員会の再編成と選出について
  - 平成24年度通常総会の開催について
  - その他

# 貸借対照表

平成24年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,689,468	11,921,822	△ 1,232,354
未収入金	0	1,430,000	△ 1,430,000
前払金	53,945	0	53,945
前払費用	286,780	61,000	225,780
仮払金	1,820	0	1,820
流動資産合計	11,032,013	13,412,822	△ 2,380,809
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	13,821,282	14,615,343	△ 794,061
基本財産合計	13,821,282	14,615,343	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,444,479	1,324,158	120,321
医療機関栄養業務実態調査預金	450,003	800,003	△ 350,000
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,001,207	3,020,609	△ 19,402
特定資産合計	5,495,689	5,744,770	△ 249,081
(3) その他固定資産			
什器備品	80,501	206,836	△ 126,335
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	380,501	506,836	△ 126,335
固定資産合計	19,697,472	20,866,949	△ 1,169,477
資産合計	30,729,485	34,279,771	△ 3,550,286
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	70,591	0	70,591
前受会費	5,268,000	4,937,140	330,860
預り金	3,479,200	3,341,060	138,140
流動負債合計	8,817,791	8,278,200	539,591
2. 固定負債			
長期借入金	1,401,836	1,933,368	△ 531,532
退職給付引当金	1,443,670	1,323,670	120,000
固定負債合計	2,845,506	3,257,038	△ 411,532
負債合計	11,663,297	11,535,238	128,059
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	19,066,188	22,744,533	△ 3,678,345
(うち基本財産への充当額)	(13,821,282)	(14,615,343)	(794,061)
(うち特定資産への充当額)	(5,495,689)	(5,744,770)	(249,081)
正味財産合計	19,066,188	22,744,533	△ 3,678,345
負債および正味財産合計	30,729,485	34,279,771	△ 3,550,286

# 正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(注) 当年度より事業区分を見直しているため、前年度決算額は記載していない。

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0		
基本財産受取利息	0		
特定資産運用益	630		
特定資産受取利息	630		
受取入会金	99,000		
受取入会金	99,000		
受取会費	21,107,000		
受取会費	17,457,000		
協賛会費	3,650,000		
事業収益	6,074,202		
受取受講料 (会員)	2,213,400		
受取受講料 (会員以外)	309,540		
受取分担金	320,000		
受取業務手数料	1,580,560		
受取事業協賛金	1,258,000		
販売収益	22,000		
雑収益	370,702		
受取補助金等	17,894		
受取市補助金	17,894		
受取寄付金	450,380		
受取寄付金	78,199		
震災支援金	372,181		
雑収益	1,198		
受取利息	1,198		
経常収益計	27,750,304		
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,489,667		
臨時雇賃金	510,841		
退職給付費用	86,520		
福利厚生費	345,393		
会議費	1,407,780		
旅費交通費	1,738,669		
通信運搬費	1,883,063		
減価償却費	663,605		
消耗品費	1,746,782		
印刷製本費	965,527		
光熱水料費	186,958		
賃借料	648,900		
保険料	132,200		
諸謝金	4,463,214		
会場費	1,345,341		

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
リース料	521,107		
食料費	450,313		
支払負担金	212,480		
渉外費	90,000		
表彰費	20,000		
物品費	11,000		
災害支援金	372,181		
租税公課	60,781		
支払利息	37,318		
雑費	405,512		
事業費計	22,795,152		
管理費			
給料手当	1,737,333		
臨時雇賃金	13,559		
退職給付費用	33,480		
福利厚生費	133,654		
会議費	912,135		
旅費交通費	177,097		
通信運搬費	540,418		
減価償却費	256,790		
消耗品費	321,386		
印刷製本費	2,076,210		
光熱水料費	72,346		
賃借料	251,100		
保険料	5,044		
諸謝金	1,185,500		
会場費	102,085		
リース料	201,649		
食料費	138,425		
支払負担金	72,408		
渉外費	236,707		
租税公課	23,520		
支払利息	14,440		
雑費	162,914		
管理費計	8,668,200		
経常費用計	31,463,352		
当期経常増減額	△ 3,713,048		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	34,703		
経常外収益計	34,703		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	34,703		
他会計振替額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 3,678,345		
一般正味財産期首残高	22,744,533		
一般正味財産期末残高	19,066,188		
II 正味財産期末残高	19,066,188		

# 財 産 目 録

平成24年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金		
	現金	手元保管 現金	運転資金として 48,711
		職域協議会・千葉支部現金	運転資金として 482,290
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店	
		普2006576	運転資金として 108,733
		普2020609	運転資金として 248,179
		普3192700	運転資金として 60,581
		普3409598	運転資金として 273,027
		普3006299	運転資金として(千葉支部) 24,409
		千葉銀行茂原東支店	運転資金として
		普2117062	運転資金として(行政) 27,900
		千葉銀行君津支店	運転資金として
		普3677832	運転資金として(学校) 106,855
		千葉銀行松ヶ丘支店	運転資金として
		普3335507	運転資金として(福祉) 264,464
		千葉信用金庫作草部支店	運転資金として
		普0682242	運転資金として 479,052
		普0685151	運転資金として 556,387
	普通貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として
		10580-15293221	運転資金として 50,060
	10570-30174421	運転資金として 103,369	
	10520-49676711	運転資金として(病院) 0	
	10550-52137101	運転資金として(集健) 109,047	
	10520-54350591	運転資金として(地活) 115,011	
	10550-67084701	運転資金として(研教) 207,839	
振替口座	ゆうちょ銀行	運転資金として	
	00110-7-779711	運転資金として 157,724	
	00180-2-94011	運転資金として 7,175,706	
	00180-0-576091	運転資金として 90,124	
		<b>【現金預金計】</b>	10,689,468
前払金	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000
	ニチイ介護に対する前払額	介護予防事業の前払額	43,945
		<b>【前払金計】</b>	53,945
前払費用	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	63,945
	生涯学習センター他に対する前払額	各協議会経費の前払額	222,835
		<b>【前払費用計】</b>	286,780
仮払金	会員交通費他に対する仮払額	フォーラム経費の仮払額	1,820
		<b>【仮払金計】</b>	1,820
<b>流動資産合計</b>			11,032,013
(固定資産)			
基本財産	建物	共有財産	13,821,282
	115.7㎡	うち公益目的保有財産 72.1%	
	千葉市若葉区殿台町122	うち管理目的の財源 27.9%	
	平屋1階建		

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	【基本財産計】	13,821,282	
			従業員への退職金の支払いに備えた積立資産である。	1,444,479	
			千葉県銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	450,003
			ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
			千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。	3,001,207
			【特定資産計】	5,495,689	
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産	80,501	
			うち公益目的保有財産 72.1%		
			うち管理目的の財源 27.9%		
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額	借地の敷金として	150,000	
		紅谷正男氏に対する保証金支払額	借地の保証金として	150,000	
			【その他固定資産計】	380,501	
固定資産合計				19,697,472	
資産合計				30,729,485	
(流動負債)	未払費用	佐川急便に対する未払額	病院協議会の宅急便代の未払額	70,591	
			【未払費用計】	70,591	
			平成24年度の会費および入会金の預り額	行政 50名分	500,000
病院 183名分	1,798,500				
学校 27名分	270,000				
福祉 118名分	1,175,500				
集健 15名分	150,000				
地活 131名分	1,261,500				
研教 12名分	112,500				
	【前受会費計】	5,268,000			
預り金	協賛会員他からの預り額 会員からの預り額 税理士他からの預り額	協賛会費、バナー広告他の預り額	253,000		
		日栄会費の預り額 495名分	3,217,200		
		源泉所得税の預り額	9,000		
		【預り金計】	3,479,200		
流動負債合計				8,817,791	
(固定負債)	長期借入金	千葉信用金庫作草部支店	建物購入資金	1,401,836	
			【長期借入金計】	1,401,836	
			退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの
【退職給付引当金計】	1,443,670				
固定負債合計				2,845,506	
負債合計				11,663,297	
正味財産				19,066,188	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 当期から「公益法人会計基準（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）」を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。  
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額およびその残高

基本財産及び特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	14,615,343	0	794,061	13,821,282
小 計	14,615,343	0	794,061	13,821,282
特定資産				
退職給付引当資産	1,324,158	120,321	0	1,444,479
医療機関栄養業務実態調査預金	800,003	50,032	400,032	450,003
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,020,609	598	20,000	3,001,207
小 計	5,744,770	170,951	420,032	5,495,689
合 計	20,360,113	170,951	1,214,093	19,316,971

### 3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	13,821,282	0	(13,821,282)	0
小 計	13,821,282	0	(13,821,282)	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,444,479	0	(1,444,479)	(1,443,670)
医療機関栄養業務実態調査預金	450,003	0	(450,003)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,001,207	0	(3,001,207)	0
小 計	5,495,689	0	(5,495,689)	(1,443,670)
合 計	19,316,971	0	(19,316,971)	(1,443,670)

### 4. 担保に供している資産

建物 13,821,282円は、長期借入金 1,401,836円の担保に供している。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	17,262,213	3,440,931	13,821,282
什器備品	1,839,491	1,758,990	80,501
合 計	19,101,704	5,199,921	13,901,783

以上のとおり相違ありません。

平成24年 4 月14日

公益社団法人 千葉県栄養士会  
会 長 長谷川 克 己 印  
副会長 石 井 國 男 印  
副会長 江 尻 喜三郎 印

監 査 報 告

定款第24条第1項の規定により、平成23年度事業報告および貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の各事項について監査を実施したところ、その内容は適正なものと認めます。

平成24年 4 月14日

監 事 中 山 恵美子  
監 事 東 憲 三



公益社団法人 千葉県栄養士会  
会 長 長谷川 克 己様